

お話のせかいに入って音読げきをしよう

「お手紙」

アーノルド・ローベール作

めあて

やくわり読みをしながら、がまくんとかえるくんの気持ちを考えよう。

【四の場面】 本文揭示

四日たって、……

※本文書き込みの例(児童の取り上げた文章の横に、発言内容を書きこんでいきます。)

早く読みたいな。

はじめてのお手紙だ。うれしいな。

そして、かえるくんからのお手紙を、がまくんに

わたしました。

……とても よろこびました。

がまくん  
かえるくん } しあわせ

【分かったこと・できたこと】

・ さし絵からも場めんのようなすをくらべることができるところが分かった。

【挿絵】

玄関の前に座っている4の場面の二人

【挿絵】

玄関の前に座っている1の場面の二人

【7/11時間目 指導略案】 使用するワークシート(四の場めん) 活動のねらい

登場人物の会話や行動から場面の様子を想像し、音読に生かすことができるようにする。

1 本時のめあてを知る。

- 学級に掲示している学習計画で本時の学習内容を確認させる。
- ※ これまでの振り返りで、会話文、行動、挿絵から場面の様子を想像することを確認させます。

2 四の場面の役割読みをすることで、だれの会話文かを確認する。

- 会話文の上に赤(がまくん)と緑(かえる)で○を付けながら確認させる。
- ※ 児童が誰の会話文か理解している場合は、役割読みをすることで確認します。

評価 主語のない文章があることに気付かせ、場面の様子を想像しながら読んでいる。

(ウー1)

3 登場人物の気持ち分かる文章をワークシートに抜き書き、その時の気持ちを考えさせます。

- 登場人物の気持ちを会話や行動から考えさせる。
- ※ 【個人】↓【隣同士】↓【全体】の流れは前時と同じです。
- ※ 一の場面の挿絵と比較させ、表情や手の動きが違うことに気付かせます。
- ※ 人物の様子については、行動や会話から次のようにまとめます。
  - ・ がまくん
  - ・ かえるくん

幸せな気持ち

4 読み取ったことを基に、四の場面を音読する。

- 読み取ったことを生かしながら音読をさせる。
- ※ 人物の気持ち分かる部分には、顔マーク(☺)等を加えながら練習させます。

評価 幸せな二人の様子を読み取っている。

(イー1)

5 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

- がまくんとかえるくんの様子を、役になりきり簡単な動作を入れながら読むと、場面の様子がよく分かることをワークシートの振り返り欄で確認させる。
- 次時は、音読発表会に向けての役割決めと台本作り、練習をすることを確認する。